

平成28年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

修士課程

※現職教員等及び教職経験を有する者
に対する選抜特例があります。

[9 月 募 集]

[2 月 募 集]

修士課程(外国人留学生特別選抜)

学生募集要項

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
9月募集	平成27年7月31日(金)～ 平成27年8月6日(木)	平成27年9月5日(土)	平成27年9月17日(木)
2月募集 外国人留学生	平成27年12月4日(金)～ 平成27年12月10日(木)	平成28年2月6日(土)	平成28年2月10日(水)

奈良教育大学

目 次

○入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
教育課程編成実施方針(カリキュラム・ポリシー).....	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー).....	1
I. 修士課程	
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	2
2. 標準修業年限.....	2
3. 出願資格.....	2
4. 出願手続(出願書類、出願方法、出願書類等に関する注意事項).....	4
5. 受験票等の送付.....	6
6. 選抜方法 ～ 一般選抜/現職教員等及び教職経験者に対する選抜特例 (学力検査日、学力検査場、学力検査時間割、学力検査科目表).....	6
7. その他の留意事項.....	10
8. 合格者の発表.....	10
9. 入学手続.....	11
10. 入学料及び授業料.....	11
11. 現職教員等に対する教育方法の特例措置(昼夜開講の拡充)について.....	11
12. 教育職員免許状(一種)の取得について〔学部授業科目の履修制度〕.....	12
13. 長期履修学生制度について.....	13
14. 修了要件、履修方法等について.....	13
15. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表.....	14
II. 修士課程(外国人留学生特別選抜)	
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	17
2. 標準修業年限.....	17
3. 出願資格.....	17
4. 出願手続(出願書類、出願方法、出願書類等に関する注意事項).....	18
5. 受験票等の送付.....	20
6. 選抜方法 (学力検査日、学力検査場、学力検査時間割、学力検査科目表).....	20
7. その他の留意事項.....	23
8. 合格者の発表.....	23
9. 入学手続.....	23
10. 入学料及び授業料.....	23
11. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表.....	24
IV. 修士課程・修士課程(外国人留学生特別選抜) 共通事項	
1. 個人情報の利用について.....	24
2. 障害を有する入学志願者との事前相談について.....	24
3. 過去の入試問題の閲覧について.....	25
4. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について.....	25

本学教育学研究科では平成 28 年 4 月に大学院改組を予定しています。この計画は文部科学省に申請中であり、内容については変更の可能性があります。内容について変更となる場合は本学ホームページにて公表しますので確認してください。

奈良教育大学大学院教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

修士課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求めます。

●教育学部・他学部出身者、現職教員、及び外国人留学生

学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学に関心を持ち、理論や専門的知識、実践的教育方法について学習・研究を行いたいという目的を持つ人

【教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

修士課程においては、以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

1. 実践的科目では、現代の教育及び社会の諸課題に対する理解を深めるとともに、これらの課題を科学的に把握し、主体的に対応する実践的・指導的力量を育みます。
2. 専修専門科目では、学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学の内容についての理解を深めるとともに、これらの内容を理論的・実践的に創造していく力量を育みます。
課題研究及び修士論文作成では、実践的科目及び専修専門科目で学んだことを統合し、自らの課題意識に即して研究を進め、教育実践に活用する力量を育みます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

修士課程においては、専門領域に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 幼児児童生徒の探究心を培うために、学びの原動力たる探究の魅力を伝えることのできる教育に関わる理論的・実践的力量
2. 学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学について、専門性を深めることができる研究的力量
3. 広い視野に立ち、自己の知識を絶えず振り返り、更新しながら現代の教育及び社会の諸課題に対応できる社会的力量

平成 28 年 4 月の大学院改組に伴い、入学定員は下表のとおり予定していますが、文部科学省に申請中であり、内容については変更の可能性があります。入学定員が下表から変更となる場合は本学ホームページにて公表しますので確認してください。

I. 修士課程

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員	
			9月募集	2月募集
人間発達	教育・心理	9名	9名	
	発達教育臨床(※夜間主)			
教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	36名	36名	
	社会科教育			
	数学教育			
	理科教育(文化財科学を含む)			
	音楽教育			
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育			
	保健体育			
	英語教育(異文化理解を含む)			
生活科学教育				
合計		45名	45名	

9月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。

※ 発達教育臨床専修の専門科目は、18時～21時10分の夜間授業時間帯及び夏季や冬季休業期間などに開設される予定です。修了に必要なその他の科目は、昼間及び夜間とも開設されます。

2. 標準修業年限 2年

ただし、長期履修学生制度が適用された場合の修業年限は、4年以内の許可された年数

※詳細は、13頁を参照

3. 出願資格

次の(1)から(8)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月までに大学卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすも

のに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者

(7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

(8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年4月1日現在22歳に達している者

[注]・上記(7)に該当する者は、次に掲げる者等です。

「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」

・上記(8)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

<個別の入学資格審査の申請方法等>

前記出願資格(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を各申請期間中に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、窓口及び郵送にて配布します。郵送による配布を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書(修士課程)請求」または「大学院入学資格審査申請書(外国人留学生)請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(82円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査書類

- ① 入学資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
- ② 学修歴、研究歴等申告書(本研究科所定の用紙)
- ③ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度)
- ④ 研究計画書(大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
- ⑤ 最終学校の卒業証明書
- ⑥ 最終学校の成績証明書
- ⑦ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類) ※
- ⑧ 申請者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒(長形3号定型に392円切手を貼付したもの)
※現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 申請期間

[9月募集] 平成27年 7月10日(金)から平成27年 7月15日(水)まで

[2月募集] 平成27年10月 9日(金)から平成27年10月14日(水)まで

郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「書留便」により、申請期間必着で送付してください。

(3) 審査方法

提出された書類の内容、口述試験、及び本研究科が必要とする場合は筆記試験(実技等を含む)の成績を総合して判定します。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、以下の日時までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

[9月募集] 平成27年 7月29日(水)

[2月募集] 平成27年12月 2日(水)

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称	提出該当者	摘 要
① 入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 <u>332円分の郵便切手</u> を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③ 検 定 料 (30,000円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。
④ 卒 業 (見 込) 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(※備考欄を参照のこと)
⑤ 成 績 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(※備考欄を参照のこと)
⑥ 宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑦ 学 位 授 与 証 明 書	出 願 資 格 (2) の 学 士 の 学 位 を 授 与 さ れ た 者	大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑧ 学 士 の 学 位 授 与 申 請 受 理 証 明 書	出 願 資 格 (2) の 大 学 評 価 ・ 学 位 授 与 機 構 に 学 位 申 請 中 の 者	大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑨ 教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	出 願 資 格 (7) に 該 当 す る 者	該当する免許状を授与された都道府県教育委員会発行の証明書を提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)

⑩	奈良教育大学大学院 入学資格 認定書(写)	出願資格(8)に 該当する者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。) ※3頁の「個別の入学資格審査の申請方法等」を参照してください。
⑪	受験承諾書	大学院在学者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在職者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑫	代替措置に係る 通知文書(写)	右記該当者	教職経験を有する者に対する選抜特例を受ける者で、 <u>研究業績等の審査により学力検査科目の代替措置が認められた者は</u> 、本学から郵送される通知文書(写)を提出してください。 ※7頁の〈選抜方法の特例〉の「教職経験を有する者に対する選抜特例」を参照してください。
⑬	在職期間証明書	現職教員等に対する選抜特例・教職経験を有する者に対する選抜特例を受ける者(研究業績等の審査により学力検査科目の代替措置が認められた者を除く。)	所属機関の長が在職期間及び雇用形態を証明したもので、3年以上勤務したことが確認できるもの(様式任意)を提出してください。 ※7頁の〈選抜方法の特例〉を参照してください。
⑭	自作曲	学力検査科目(専門科目)の中で「作曲」を選択した者	任意の自作曲の譜面を提出してください。
⑮	住民票の写し等	日本国に居住している 外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。

(備考)

- ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書、及び成績証明書で和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校、大使館、総領事館、公証役場が証明した翻訳文(和文又は英文に限る)をあわせて提出してください(日本語学校は除く)。上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。
- ② 証明書類等は、原本(オリジナル)を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
- ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に**出願**してください。郵送による場合は、この要項に添付した出願用封筒を用い『書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[9月募集]

平成27年7月31日(金)から8月6日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、8月6日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

[2月募集]

平成27年12月4日(金)から12月10日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、12月10日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願にあたっては、入学後の研究内容について、指導を希望する教員に事前に相談してください。

【参照】教員一覧URL (<http://www.nara-edu.ac.jp/guide/list/>)

- ② 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。

- ③ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

- ④ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が以下の日時までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

[9月募集] 平成27年8月26日(水)

[2月募集] 平成28年1月27日(水)

- (2) 受験及び入学手続きの際に、**受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。**

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・実技試験・口述試験)、成績証明書、研究計画書の内容を総合して行います。一般選抜の学力検査科目は、**外国語、共通専門科目、専門科目(実技を含む)、口述試験**とします。なお、現職教員等及び教職経験を有する者については、次のとおり選抜方法の特例を設けていますので、希望者は、入学願書の該当欄等に必要事項を記入の上、出願してください。

〈選抜方法の特例〉

現職教員等に対する選抜特例

学力検査科目は、外国語、共通専門科目を免除し、専門科目（実技を含む）及び口述試験とします。

この選抜特例を適用される者は、現職教員等に該当する者で、**3年以上**（平成28年4月1日現在）専任で勤務し在職のまま入学する者です。

※現職教員等とは、下記のいずれかに該当する者で、平成28年4月1日現在専任で勤務し在職のまま入学する者をいいます。

- ア) 学校教育法第1条に規定する学校の教員(*1)
- イ) 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員(*2)
- ウ) 学校教育法第124条に規定する専修学校の教員(*3)
- エ) 学校教育に類する教育を行うもののうち、他の法律に特別の規定がある機関で教育又は研究の職に従事している者
- オ) 教育相談機関において、教育相談又はカウンセリングの職に従事している者
- カ) 社会教育施設等の教育機関で教育又は研究の職に従事している者
- キ) 障害児(者)の社会福祉施設・機関において、教育、指導、療育又はセラピーの職に従事している者

*1 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、特別支援学校及び幼稚園の教員

*2 地方公務員のうち、学校教育法第1条に定める学校であって同法第2条に定める公立学校の学長、校長(園長を含む。)、教員及び部局長並びに教育委員会の教育長及び専門的教育職員

*3 学校教育法第1条に掲げるもの以外の教育施設で、職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う専修学校の教員

教職経験を有する者に対する選抜特例

学力検査科目は、外国語を免除し、共通専門科目、専門科目（実技を含む）及び口述試験とします。

この選抜特例を適用される者は、**3年以上**（平成28年4月1日現在）の教職経験を有している者です。

なお、学力検査科目の専門科目(実技を含む)については、在職中に発表した研究業績等の審査をもって代替することができますので、この措置を希望する者は、次の書類を出願書類の提出先に提出してください。代替の可否は、出願期間までに郵送により通知します。代替を認められた者は、出願時に通知文書(写)を提出してください。

〔提出期間〕

〔9月募集〕平成27年 7月13日(月)から 7月17日(金)まで (必着)

〔2月募集〕平成27年11月 9日(月)から11月13日(金)まで (必着)

※郵送による場合は、封筒表面に「大学院教育学研究科修士課程代替措置書類在中」と朱書きし、「書留便」により、必着で送付してください。

〔提出書類〕

1. 研究業績書(本研究科所定の用紙)及び次に掲げる研究業績等のいずれか一つ

ア. 研究論文・報告等の主要なもの3点以内(志望する専攻・専修領域にかかわる内容のもので、何らかの形で公表し、印刷されたもの)

イ. 作品の主要なもの3点以内(原本又は写)

ウ. 演奏の主要なもの概要と資料(プログラム等)

なお、声楽実技又は器楽実技を代替科目とする者は、口述試験のなかで任意の楽曲1曲の演奏を必要とします。

2. 入学願書の写し(所要事項を全て記入したもの)

3. 在職期間証明書(所属機関の長が在職期間及び雇用形態を証明したもので、3年以上勤務したことが確認できるもの(様式任意))

4. 受験者の郵便番号、住所、氏名等を記入した返信用封筒(長形3号定形に392円切手を貼付したもの)

(1) 学力検査日

[9月募集] 平成27年9月5日(土)

[2月募集] 平成28年2月6日(土)

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町^{たかばたけちょう}(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。
集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験			口述試験
		外国語	共通専門科目	専門科目 (実技を含む)	
人間 発達	教育・心理	9:00~10:30	10:50~11:50	13:00~14:30	15:00~
	発達教育臨床(夜間主)				
教科 教育	国語教育・ 日本語日本文化教育				
	社会科教育				
	数学教育				
	理科教育 (文化財科学を含む)				
	保健体育				
	英語教育 (異文化理解を含む)				
	生活科学教育				
	音楽教育				
造形表現(美術・書道)・ 伝統文化教育	13:00~ 筆記・実技試験終了後口述試験				

(4) 学力検査科目表

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験			口述 試験
		外国語	共通専門科目	専門科目(実技を含む)	
人間 発達	教育・心理	英語	教育学Ⅰ、心理学Ⅰから 1科目選択	教育学Ⅱ、心理学Ⅱから1科目選択	全 員 が 受 験 す る こ と
	発達教育臨床	英語	発達教育臨床（幼年教育、特別支援教育、教育臨床）に関する小論文	発達教育臨床（幼年教育、特別支援教育、教育臨床）に関する基礎的事項	
教科 教育	国語教育・日本語 日本文化教育	英語	国語科教育Ⅰ	国語科教育Ⅱ、国語学、国文学、 日本語日本文化教育から1科目選択	
	社会科教育	英語	社会科教育Ⅰ	社会科教育Ⅱ、日本史学、西洋史学、 地理学、法律学、経済学、社会学から 1科目選択	
	数学教育	英語	数学科教育Ⅰ	数学科教育Ⅱ、代数学、幾何学、 解析学、確率・統計、応用数学から1 科目選択	
	理科教育 (文化財科学を含む)	英語	理科教育Ⅰ	理科教育Ⅱ、物理、化学、生物、 地学、文化財科学から1科目選択	
	音楽教育	英語	音楽科教育Ⅰ	音楽科教育Ⅱ、声楽実技、器楽実技、 音楽学、作曲から1科目選択	
	造形表現(美術・書 道)・伝統文化教育	英語	美術科教育Ⅰ	美術科教育Ⅱ、絵画実技、美術史、絵 画記録保存実技、書道実技から1科目 選択	
	保健体育	英語	保健体育科教育Ⅰ	保健体育科教育Ⅱ、体育社会学、 体育原理、運動学、運動生理学、学校 保健学から1科目選択	
	英語教育 (異文化理解を含む)	英語	英語科教育Ⅰ	英語科教育Ⅱ、英語学、英米文学から 1科目選択	
生活科学教育	英語	家庭科教育Ⅰ	家庭科教育Ⅱ、食物学、保育学、 家庭経営学から1科目選択		

(注)日本語で出題する。

〔学力検査科目表の注意事項〕

1. 外国語は、専攻・専修別に示されている科目から選択し受験してください。また、外国語については、辞書(書物に限る。電子辞書は不可。)の持ち込みを認めます。
2. 共通専門科目は、基礎的教養に関する試験であり、専門科目(実技を含む)は専門的教養に関する試験です。
3. 専門科目(実技を含む)は、自己の研究題目に合致し、入学後に研究指導を希望する教員が専門とする科目を選択し受験してください(14頁～16頁参照)。

4. 教科教育専攻理科教育（文化財科学を含む）専修を志望する者で、専門科目の化学を選択し受験する者には、当日、関数電卓を問題用紙配付時に配付し、答案用紙回収時に回収します。
5. 教科教育専攻音楽教育専修を志望する者は、下記事項に留意してください。
- ① 専門科目で音楽科教育Ⅱを受験する者は、音楽科教育Ⅱの筆記試験に加え、口述試験のなかで任意の器楽曲又は声楽曲1曲の演奏を必要とします。
 - ② 専門科目の音楽実技、器楽実技、音楽学、作曲の内容は以下のとおりです。
 - ア. 音楽実技 任意の日本及び外国の声楽曲各1曲を歌う。
 - イ. 器楽実技 任意のピアノ曲を1曲演奏する。
 - ウ. 音楽学 音楽学(音楽生理学及び音楽心理学)の基礎知識についての筆記。
 - エ. 作曲 任意の自作品の譜面を出願時に提出する。(自作品の録音があれば、出願時に提出することが望ましい。)当日、自作品についての口述試験を行う。
 - ③ 声楽曲を演奏する者は、伴奏者を同伴してください。
 - ④ 演奏はすべて暗譜で行うこととします。
6. 教科教育専攻造形表現（美術・書道）・伝統文化教育専修を志望する者は、下記事項に留意してください。
- ① 実技試験を選択する者は、次のものを持参してください。
 - 絵画実技……………鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式、パレット、筆、水入れ、雑巾
 - 絵画記録保存実技……鉛筆デッサン用筆記用具
 - 書道実技……………書道用具一式(筆と半紙・条幅用を準備してください。)
 - ② 絵画実技、絵画記録保存実技(絵画記録保存実技は、模写を含む。)、書道実技に関する作品のうちいずれかの作品(作品の写真可)2点以内を試験当日持参し、口述試験の際に提出してください。なお、作品は3年以内に作成したものとし、サイズは自由とします。ただし、美術科教育Ⅱ、美術史の専門科目を受験する者は、提出する必要はありません。

7. その他の留意事項

- (1) 出願手続後は、志望専攻・専修及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験当日には、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (4) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (5) 各試験開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (7) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。
- (8) 募集要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

- [9月募集] 平成27年9月17日(木) 午前10時
 [2月募集] 平成28年2月10日(水) 午前10時

合格者は、本部管理棟東側の入学試験掲示板に受験番号を掲示して発表すると同時に合格通知書を本人に郵送します。

また、合格発表日に本学のホームページ(<http://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、改ざんされる恐れもありますので、**必ず学内掲示板または合格通知で確認してください。**

なお、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

〔9月募集〕 平成27年11月 2日(月) 午前10時から午後4時まで

〔2月募集〕 平成28年 3月15日(火) 午前10時から午後4時まで

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円 (予定)

授業料 前期分 267,900円 (年額535,800円) (予定)

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、平成28年4月1日から平成28年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成27年度入学者の金額であり、平成28年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 授業料について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に定めるところによります。

11. 現職教員等に対する教育方法の特例措置(昼夜開講の拡充)について

現職教員等(7頁参照)に対する研修機関としての役割を積極的に果たすことを目的として、本学教育学研究科(修士課程)では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を次の2つの方式により開設し、大学院での学習の機会を拡充しています。

具体的な実施方式は以下のとおりです。

〔1年次フルタイム・2年次定期通学方式〕

- ① 修業年限2年のうち、第1年次は昼間(9:00~17:50)での授業及び研究指導をフルタイムで受け、課程修了に必要な30単位のうち24単位以上を修得
- ② 第2年次は、週1回以上定期的に通学し、授業及び研究指導を受け、合計6単位以上を修得
- ③ 第2年次は、夜間コースの授業も受講することができます。
- ④ 第2年次の特例措置について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に定めるところによります。

〔1・2年次とも夜間等の授業を履修する方式(夜間コース)〕

- ① 修業年限の2年間とも夜間(18:00~21:10)での授業及び研究指導を受け、課程修了に必要な30単位以上を修得

② 授業及び研究指導は、夏季・冬季休業期間中及び土曜日の午後にも開設することがあります。

③ 休業期間中の昼間に開講される集中講義を受講することができます。

※夜間コースの志願者のうち、実験、フィールドワークに関することを研究テーマに予定している者は、出願前に、研究テーマ・指導教員等について、あらかじめ照会してください。

現職教員等でこの教育方法の特例措置を希望する者は、募集要項中の次の項目を参照のうえいずれかの方式を選択し、出願してください。

(1) 出願手続〔4頁〕

(2) 選抜方法〔7頁〕

なお、本特例措置については、入学当初に、研究指導教員の承認を得た「許可願」を提出し、許可を受けた場合に適用されます。

12. 教育職員免許状(一種)の取得について〔学部授業科目の履修制度〕

大学院在学中に教員免許状(一種)の取得を計画される場合には、科目等履修生として、学部で開設されている教員免許状取得に必要な科目を履修することで、免許状を取得できる制度を設けています。

この制度は、免許状取得を保証するものではありませんが、大学院入学までに教員免許状に必要な科目を一定程度修得済みの者で、大学院の研究や授業履修を優先しつつ、学部の授業科目の単位を修得することができれば、免許状取得が可能になります。

〈履修の制限等〉

- ・ 1学期間4科目8単位以内、修業年限の2年間で最大32単位まで履修できます。なお、修業年限を越え大学院に在学する場合は、48単位を履修上限としています。
- ・ 教育実習の履修については、教員免許状取得に必要な全ての単位を、大学院入学前に取得した単位と、大学院入学後の科目等履修により取得する単位で充足できる者で、本人が教育実習校の内諾を得られる場合に限り、教育実習の履修が認められる制度を設けています。申請が許可された場合は、大学院修了予定年度に、1回に限り教育実習を行うことができます。

なお、教育実習を行うまでには、実習を行う学校種別に、免許法上に定められた教科に関する科目、教職に関する科目の半数以上を修得していること及び事前・事後指導の履修を必須としています。詳細は、出願までに照会してください。

〈授業料等〉

- ・ 科目等履修生の検定料及び入学科料については、徴収しません。ただし、改定があった場合は、徴収します。
- ・ 授業料は1学期間4単位(年間8単位)以内の履修(教育実習は除く)については徴収ませんが、4単位を越える場合と教育実習については、1単位につき、14,800円(予定)を徴収します。

〈その他注意事項〉

- ・ 大学院正規課程での授業・研究が主となりますので、入学後研究指導教員と相談のうえ履修計画を立て、承認を得ることになります。また、本制度は免許状の取得を保証するものではなく、大学院の授業と学部の授業の時間割の重複や、学部の授業の履修には当該授業担当者の承諾が必要であることにより、希望の教員免許状を取得できないこともあります。取得免許種によっては、介護等体験の参加も可能です。

※ 本制度による履修について不明な点がある場合は必ず出願までに照会してください。

参考までに、免許状の取得に必要な履修単位の例を掲載します。入学前の大学等の課程認定の状況と実際に修得した免許要件科目の状況により履修単位数は異なります。

- (1) 中学・高校の教科の一種免許状を取得済みで、小学校一種免許状取得を計画する場合
小学校一種免許状取得のために、約44単位の修得が必要となります。
- (2) 中学・高校の教科の一種免許状を取得済みで、同一校種の他教科の一種免許状取得を計画する場合
同一校種の他教科の一種免許状を取得するため、教科に関する科目約20単位と指導法に関する科目の修得が必要となります。
- (3) 小学校一種免許状を取得済みで、中学・高校の教科の一種免許状取得を計画する場合
中学・高校の教科の一種免許状取得のため、約45単位の修得が必要となります。
- (4) 入学時に、教員免許状は所有していないが、小学校一種免許状取得を計画する場合
小学校一種免許状取得のため、約67単位の修得が必要となります。

【問い合わせ先】 教務課 大学院担当 TEL 0742-27-9322

13. 長期履修学生制度について

この制度は、修士課程の入学者のうち、下記申請資格を有する者で、通常の標準修業年限での履修が困難な場合に、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

〈申請資格〉

申請できる者は、現職教員等(現職教員等とは、本要項7頁の〈選抜方法の特例〉現職教員等に対する選抜特例)の「※」に該当する者とします。)

〈修業年限〉

修業年限は3年又は4年とします。

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「長期履修学生制度の申請予定」欄に申請予定の有無を記載のうえ、入学後ただちに、担当教員と3年又は4年の履修計画を立案したうえ、申請書を提出することになります。

〈授業料〉

申請が認められた場合は、3年又は4年の修業年限となりますが、授業料は2年間分を納付することになります。

(参考例) 修業年限が3年で長期履修を許可された者の授業料の年額

$535,800円 \times 2年 \div 3年 = 357,200円$ (年額)

※ 2年間分の授業料を3年間で分割納入することになります。

14. 修了要件、履修方法等について

〈修士課程の修了要件の概要〉

修士課程においては、履修規則に基づき30単位以上の単位を修得した上、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要となります。

15. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表

9頁の〔学力検査科目表の注意事項〕をよく読んで専門科目を受験（選択）してください。

専攻	専修	受験専門科目名	職名・氏名	研究テーマ・研究分野
人間 発達	教育・心理	教育学Ⅱ	教授 生田 周二	人権教育・異文化間教育の社会教育的研究
			教授 *井深 雄二	学校経営改善と教育費政策に関する研究
			教授 片岡 弘勝	地域生涯学習論研究、社会教育の原理的歴史的研究
			教授 渋谷 真樹	多文化社会に生きる子どもたちのアイデンティティ形成
			准教授 赤沢 早人	授業づくり・カリキュラム構成に関する研究
			准教授 板橋 孝幸	日本教育史、近・現代における地域教育運動の研究
			准教授 橋崎 頼子	市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究
		心理学Ⅱ	教授 豊田 弘司	教育心理学(記憶・学習及び対人関係に関する研究)
			准教授 出口 拓彦	教育臨床心理学(適応や規範意識、学級集団等に関する研究)
	准教授 中山留美子		発達心理学(人格・自己の発達)	
	発達教育臨床 (夜間主)	発達教育臨床(幼年教育、特別支援教育、教育臨床)に関する基礎的事項	教授 岩坂 英巳	児童青年期精神医学、心理社会的治療法の開発と実践
			教授 越野 和之	障害児者の人格発達と社会的環境・教育
			教授 横山真貴子	乳幼児の萌芽的読み書き活動の研究
			准教授 市来百合子	臨床心理学、学校教育臨床、非言語的アプローチにおける内的体験
教科 教育	国語教育・ 日本語日本 文化教育	国語科教育Ⅱ	教授 棚橋 尚子	国語科教育学
			准教授 中谷いづみ	作文教育史・「書くこと」の教育にかかわる研究
		国語学	教授 加藤 久雄	現代日本語の語彙論・文法論
			教授 前田 広幸	日本語音声・音韻の研究
		国文学	准教授 有馬 義貴	平安時代の文学・古典教育
			教授 日高 佳紀	日本近代文学と社会制度、読者論、大衆文化
			准教授 橋本 昭典	中国古代の哲学・思想
	日本語日本文化教育	准教授 和泉元千春	日本語教育学	
	社会科教育	社会科教育Ⅱ	教授 岩本 廣美	地理教育、環境教育、子どもの遊び
			准教授 内山 知一	公民教育、アメリカの「グローバル・国際教育」
		日本史学	教授 今 正秀	日本古代・中世史(平安時代を中心に)
		西洋史学	准教授 西田 慎	ドイツ現代史(特に戦後史)、ドイツ政治史
		地理学	教授 根田 克彦	イギリスと日本の都市小売業の立地
			准教授 河本 大地	地域多様性、農山村地域研究、観光・地域振興
		法律学	教授 佐野 誠	人権の起源・歴史・思想
		経済学	教授 森 伸宏	金融論および産業組織論
		社会学	教授 渡邊 伸一	社会問題の社会学的研究

教科教育	数学教育	数学科教育Ⅱ	准教授 近藤 裕	数学教育学
			准教授 舟橋 友香	数学教育学
		代数学	教授 川崎謙一郎	可換代数学
		幾何学	准教授 花木 良	結び目理論
		解析学	教授 *河上 哲	作用素環論と表現論
		確率・統計	教授 高木 祥司	数理統計学
		応用数学	教授 伊藤 直治	数理科学・工学
	理科教育 (文化財科学を含む)	理科教育Ⅱ	教授 森本 弘一	科学的素養を高める理科教材の開発
			准教授 石井 俊行	子どもたちの科学概念の構築を阻害する要因の究明
		物理	教授 松山 豊樹	素粒子論、場の量子論及び巨視的量子効果の研究
			准教授 常田 琢	固体物理学、ナノ科学・工学
			教授 中村 元彦	分光法による固体物性の研究
		化学	教授 山崎 祥子	新しい有機合成法の開発
			教授 梶原 篤	磁気共鳴、高分子化学、化学教育
			准教授 堀田 弘樹	新規な化学分析手法の開発
		生物	教授 石田 正樹	原生動物を用いた細胞生物学
			教授 松井 淳	樹木の繁殖生態、湿原の保全生態学
			准教授 菊地 淳一	外生菌根とキノコの生態学
			准教授 辻野 亮	森林の生態学、人と自然のかかわり
		地学	教授 和田 穰隆	野外地質調査と室内試料解析による火山活動の研究
			准教授 藤井 智康	湖沼・沿岸海洋の環境動態に関する研究
		文化財科学	教授 金原 正明	環境考古学
		音楽教育	音楽科教育Ⅱ	准教授 劉 麟玉
	声楽実技		教授 福田 清美	フランス声楽曲の演奏法
	器楽実技		教授 前田 則子	ピアノ演奏法、歌曲伴奏、室内楽、ピアノ教育、ソルフェージュ教育
	音楽学		教授 福井 一	脳科学と人間の音楽行動
	作曲		准教授 北條美香代	作曲法、編曲法、創作授業研究
	造形表現(美術・書道)・ 伝統文化教育	美術科教育Ⅱ	教授 宇田 秀士	美術教育の題材・授業構造、近代日本美術教育史
			准教授 竹内 晋平	図画工作・美術科授業研究、生涯学習と美術に関する研究
		絵画実技	准教授 狩野 宏明	絵画制作にかかわる理論、絵画史の研究
		美術史	教授 山岸 公基	日本・東洋仏教美術史の研究
		絵画記録保存実技	教授 大山 明彦	文化財の記録保存のための模写と復元
		書道実技	教授 福光 佐今	漢字書法の研究
准教授 谷川 雅夫			書道史・書道理論・書道教育	
教授 豊田 宗児	漢字(古代文字)			

教科教育	保健体育	保健体育科教育Ⅱ	准教授 高田 俊也	体育授業づくりを中心とした授業改善・評価に関する研究
		体育社会学	教授 高橋 豪仁	生涯スポーツ/スポーツイベントに関する社会学的研究
		体育原理	准教授 井上 邦子	スポーツ文化・体育（身体教育）の身体文化論的研究
		運動学	准教授 立 正伸	身体運動を対象とした運動学・トレーニング科学的研究
		学校保健学	教授 笠次 良爾	学校保健ならびにスポーツ医学, 特に傷害予防に関する研究
	英語教育 (異文化理解を含む)	英語科教育Ⅱ	教授 佐藤臨太郎	教室第二言語習得研究・英語教育学
		英語学	教授 吉村 公宏	認知言語学・日英対照研究
			准教授 米倉 陽子	認知言語学・文法化・主体化
	英米文学	教授 門田 守	19世紀イギリス詩及び小説の研究	
	生活科学教育	家庭科教育Ⅱ	教授 鈴木 洋子	家庭科教育学、小学校低学年からの食育の推進
		食物学	准教授 杉山 薫	食品の製造過程で生じる副産物の栄養評価と有効利用
		保育学	准教授 中川 愛	対乳児行動に関する研究
		家庭経営学	准教授 立松麻衣子	高齢者の生活ならびに地域コミュニティに関する研究

*平成29年3月退職予定の教員です。

※上表に変更が生じた場合は、本学のホームページ (<http://www.nara-edu.ac.jp/>) で発表しますので、各出願前に確認してください。

II. 修士課程(外国人留学生特別選抜)

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員
人間発達	教育・心理	9名	若干名
	発達教育臨床(※夜間主)		
教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	36名	若干名
	社会科教育		
	数学教育		
	理科教育(文化財科学を含む)		
	音楽教育		
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育		
	保健体育		
	英語教育(異文化理解を含む)		
生活科学教育			
合計		45名	若干名

※ 発達教育臨床専修の専門科目は、18時～21時10分の夜間授業時間帯及び夏季や冬季休業期間などに開設される予定です。修了に必要なその他の科目は、昼間及び夜間とも開設されます。

2. 標準修業年限 2年

3. 出願資格

次の(1)から(4)のいずれかに該当する外国籍を有する者(ただし、日本国に永住している者は対象としません。)

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年(2016年)3月までに修了見込みの者
- (2)外国において学校教育における12年の課程を修了し日本において大学を卒業した者及び平成28年(2016年)3月までに卒業見込みの者
- (3)本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年(2016年)4月1日現在22歳に達している者
- (4)その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

[注]・上記(3)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

〈個別の入学資格審査の申請方法等〉

前記出願資格(3)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を平成27年(2015年)10月9日(金)から10月14日(水)までに入試課に提出してください。郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「書留便」により、必着で送付してください。

入学資格審査申請書等の様式は、窓口及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(82円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査書類

- ① 入学資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
- ② 学修歴、研究歴等申告書(本研究科所定の用紙)
- ③ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度)
- ④ 研究計画書(大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
- ⑤ 最終学校の卒業証明書及び成績証明書
- ⑥ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類)※
- ⑦ 申請者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒(長形3号定型に392円切手を貼付したもの)
※現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 審査方法

提出された書類の内容、口述試験、及び本研究科が必要とする場合は筆記試験(実技等を含む)の成績を総合して判定します。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(3) 審査結果の通知

審査の結果は、平成27年(2015年)12月2日(水)までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称	提出該当者	摘要
① 入学願書	全員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。(氏名は住民票に記載されている氏名を記入してください。)
② 受験票・写真票	全員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。受験票の裏面には、 <u>332円分の郵便切手</u> を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③ 検定料 (30,000円)	全員	郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。ただし、国費外国人留学生の場合は納付を必要としません。

④	卒業（見込）証明書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。 （備考欄(1)を必ず参照のこと）
⑤	成績証明書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。 （備考欄(1)を必ず参照のこと）
⑥	発表論文等の概要	全 員	所定の用紙に日本語で記載してください。 論文がない場合には、主な研究の概要を提出してください。 （備考欄(2)を必ず参照のこと）
⑦	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑧	住民票の写し等	日本国に居住している者	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。
⑨	奈良教育大学大学院 入学資格 認定書（写）	出願資格(3)に 該当する者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。 ※17頁の「個別の入学資格審査の申請方法等」を参照してください。
⑩	受験承諾書	大学院在学者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在 職 者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑪	自 作 曲	学力検査科目(専門科目)の中で「作曲」を選んだ者	任意の自作曲の譜面を提出してください。
⑫	国費外国人留学生 証 明 書	国費外国人留学生	在籍している大学が証明したもので、国費外国人留学生としての期間が記載されているものを提出してください。

(備考)

- (1) ① 卒業（修了）証明書又は見込証明書、及び成績証明書で和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校、大使館、総領事館、公証役場が証明した翻訳文（和文又は英文に限る）をあわせて提出してください（日本語学校は除く）。上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。
- ② 証明書類等は、原本(オリジナル)を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
- ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。
- (2) 教科教育専攻音楽教育専修で、専門科目を声楽実技、器楽実技、音楽学及び作曲を選択する者は、録音、論文、作品等の資料を提出してください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、出願期間内に出願してください。郵送による場合は、この要項に添付した出願用封筒を用い『書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

平成27年(2015年)12月4日(金)から12月10日(木)まで
各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)
(郵送の場合は、12月10日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課 (〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願書類等に関する注意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票等の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。
なお、受験票が平成28年(2016年)1月27日(水)までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。
- (2) 受験及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

- ・我が国と諸外国相互の教育・研究の水準を高めるとともに、国際理解・国際協調の精神を醸成するために、本学大学院教育学研究科は、学則第59条に基づき、一般の入学者選抜方法とは別の選抜方法により外国人留学生を対象とした特別選抜を実施します。ただし、国費外国人留学生・外国政府派遣留学生については別途選抜を行うことがあります。
- ・入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・実技試験・口述試験)の結果を総合して行います。

(1) 学力検査日

平成28年(2016年)2月6日(土)

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。
 集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験		口述試験
		外国語	専門科目 (実技を含む)	
人間 発達	教育・心理	9:00~10:30	13:00~14:30	15:00~
	発達教育臨床(夜間主)			
教科 教育	国語教育・日本語日本文化教育	9:00~10:30		
	社会科教育			
	数学教育			
	理科教育(文化財科学を含む)			
	保健体育	9:00~10:30		
	英語教育(異文化理解を含む)			
	生活科学教育	9:00~10:30		
	音楽教育			
造形表現(美術・書道)・伝統文化 文化教育	13:00~ 筆記・実技試験終了後口述試験			

(4) 学力検査科目表

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験		口述 試験
		外国語	専門科目(実技を含む)	
人間 発達	教育・心理	日本語 (日本語で解答)	教育学Ⅱ、心理学Ⅱから1科目選択	全 員 が 受 験 す る こ と
	発達教育臨床	日本語 (日本語で解答)	発達教育臨床(幼年教育、特別支援 教育、教育臨床)に関する基礎的事 項	
教科 教育	国語教育・ 日本語日本文化教育		国語科教育Ⅱ、国語学、国文学、 日本語日本文化教育から1科目選択	
	社会科教育		社会科教育Ⅱ、日本史学、西洋史 学、地理学、法律学、経済学、社 会学から1科目選択	

教科教育	数学教育		数学科教育Ⅱ、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、応用数学から1科目選択	全員が受験すること
	理科教育 (文化財科学を含む)		理科教育Ⅱ、物理、化学、生物、地学、文化財科学から1科目選択	
	音楽教育	日本語 (日本語で解答)	音楽科教育Ⅱ、声楽実技、器楽実技、音楽学、作曲から1科目選択	
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育	日本語 (日本語で解答)	美術科教育Ⅱ、絵画実技、美術史、絵画記録保存実技、書道実技から1科目選択	
	保健体育	英語 (日本語で解答)	保健体育科教育Ⅱ、体育社会学、体育原理、運動学、運動生理学、学校保健学から1科目選択	
	英語教育 (異文化理解を含む)	英語 (日本語及び英語で解答)	英語科教育Ⅱ、英語学、英米文学から1科目選択	
	生活科学教育		家庭科教育Ⅱ、食物学、保育学、家庭経営学から1科目選択	

〔学力検査科目表の注意事項〕

1. 外国語を課す専攻・専修、課さない専攻・専修がありますので注意してください。また、外国語については辞書(書物に限る。電子辞書は不可。)の持ち込みを認めます。
2. 専門科目(実技を含む)は、自己の研究題目に合致し、入学後に研究指導を希望する教員が専門とする科目を選択し受験してください。(14頁～16頁参照)
なお、各教科教育Ⅱは専門的教養に関する試験です。
3. 教科教育専攻理科教育(文化財科学を含む)専修を志望する者で、専門科目の化学を選択し受験する者には、当日、関数電卓を問題用紙配付時に配付し、答案用紙回収時に回収します。
4. 教科教育専攻音楽教育専修を志望する者は下記事項に留意してください。
 - ① 専門科目で音楽科教育Ⅱを受験する者は、音楽科教育Ⅱの筆記試験に加え、口述試験のなかで任意の器楽曲又は声楽曲1曲の演奏を必要とします。
 - ② 専門科目の声楽実技、器楽実技、音楽学、作曲の内容は以下のとおりです。
 - ア. 声楽実技 任意の日本及び外国の声楽曲各1曲を歌う。
 - イ. 器楽実技 任意のピアノ曲を1曲を演奏する。
 - ウ. 音楽学 音楽学(音楽生理学及び音楽心理学)の基礎知識についての筆記。
 - エ. 作曲 任意の自作品の譜面を出願時に提出する。(自作品の録音があれば、出願時に提出することが望ましい。)当日自作品についての口述試験を行う。
 - ③ 声楽曲を演奏する者は、伴奏者を同伴してください。
 - ④ 演奏はすべて暗譜で行うこととします。

5. 教科教育専攻造形表現（美術・書道）・伝統文化教育専修を志望する者は、下記事項に留意してください。

① 実技試験を選択する者は次のものを持参してください。

絵画実技…………… 鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式、パレット、筆、水入れ、雑巾

絵画記録保存実技…………… 鉛筆デッサン用筆記用具

書道実技…………… 書道用具一式（筆と半紙・条幅用を準備してください。）

② 絵画実技、絵画記録保存実技（絵画記録保存実技は、模写を含む）、書道実技に関する作品のうちいずれかの作品（作品の写真可）2点以内を試験当日持参し、口述試験の際に提出してください。

なお、作品は3年以内に作成したものとし、サイズは自由とします。ただし、美術科教育Ⅱ、美術史の専門科目を受験する者は、提出する必要はありません。

7. その他の留意事項

(1) 出願手続後は、志望専攻・専修及び受験科目の変更は認めません。

(2) 試験当日には、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。

万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。

(3) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。

(4) 各試験開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することはできません。

あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。

(5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。

(6) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。

(7) 募集要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

平成28年(2016年)2月10日(水) 午前10時

合格者は、本部管理棟東側の入学試験掲示板に受験番号を掲示して発表すると同時に合格通知書を本人に郵送します。

また、合格発表日に本学のホームページ上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、改ざんされる恐れもありますので、**必ず学内掲示板または合格通知で確認してください。**

なお、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日 平成28年(2016年)3月15日(火) 午前10時から午後4時まで

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円 (予定)

授業料 前期分 267,900円 (年額535,800円) (予定)

(注)ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、平成28年4月1日から平成28年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成27年度入学者の金額であり、平成28年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 国費外国人留学生として入学する場合は、入学料及び授業料は納付を必要としません。

11. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表

入学の際には、14頁～16頁の対応表に示されている受験(選択)した専門科目に関連する領域を専門とする教員の研究指導を受けることを原則とします。

IV. 修士課程・修士課程(外国人留学生特別選抜) 共通事項

1. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

2. 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

修士課程

[9月募集] 平成27年 7月17日(金) から平成27年 7月22日(水) まで

[2月募集] 平成27年11月16日(月) から平成27年11月18日(水) まで

修士課程（外国人留学生特別選抜）

平成27年11月16日（月）から平成27年11月18日（水）まで

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）を作成し、医師の診断書を添付して提出してください。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 障害の種類、程度
- (3) 志望予定専攻、専修等
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課

3. 過去の入試問題の閲覧について

過去3年間の入学試験問題を入試課窓口で閲覧することが出来ます。

なお、個人への郵送は取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈閲覧場所〉 入試課窓口

〈時間〉 平日 9:00～17:00

4. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生（留学生は除く）は、奈良教育大学のHPにて申請方法を確認してください。

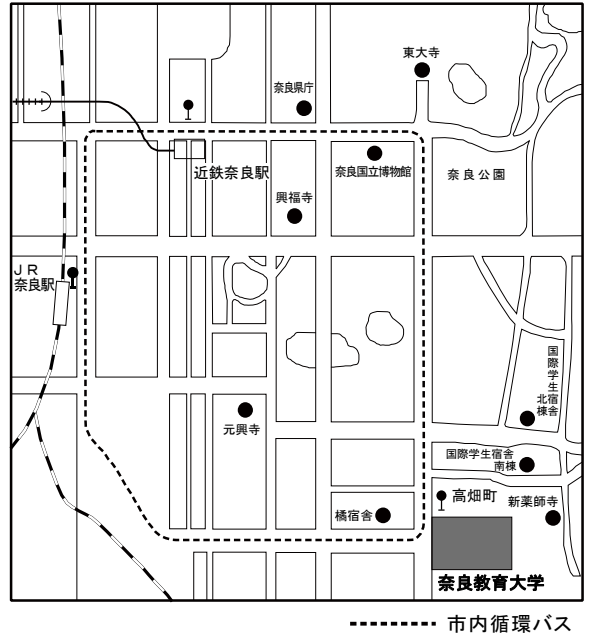
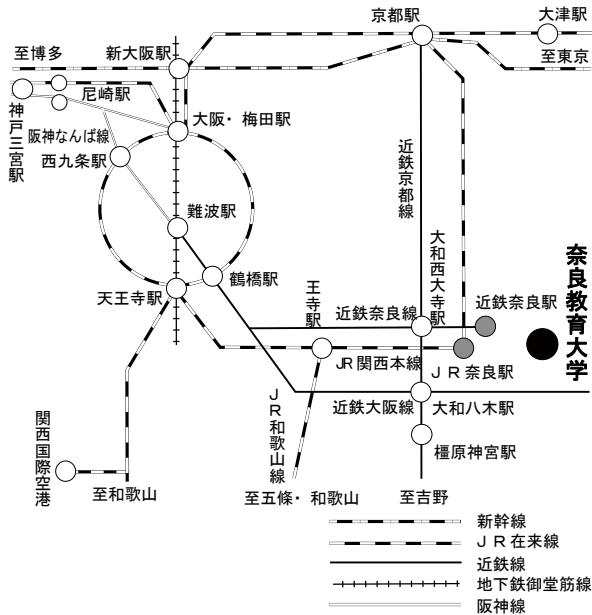
URL : http://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/health/scholarship_system.html

「平成28年度日本学生支援機構奨学金予約採用（大学院）について」

【注意】申請方法は平成27年9月からホームページに掲載します。

申請受付期間は平成27年12月から平成28年1月中旬の予定です。

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp